

ネイチャーセンター ガイド (95)

「あけましておめでとうございます」

新年の挨拶のみならず、挨拶というものはとても大切なことです。

挨拶というものをどこで学ぶのでしょうか？学校？地域？家？友達？先輩？先生？クラブ？誰に学ぶというわけではないですよ。

基本的に大事なことは、礼儀の基本は「親」に学ぶということをお忘れはいけませんよね。それから人に教わり、人に伝えていけるんですよ。

親は道しるべ、子ども達の道しるべなのです。このことも忘れてはいけません。子どもを見ていれば親がわかるというように、親は子の鏡です。子どもの意思の向くままに、放任主義の子育てが目立つようですが、ひとつ忘れていることがあるのではないのでしょうか。それは、将来、社会で生きていくにあたっての生きる力を身につけさせることです。法の下に生きていくということ、自由を獲得するためにはさまざまな困難を乗り越えていかなければならないこと、嫌なことも良いこともたくさんあるということ、人を思いやること、人を助けること、人は人を傷つけ、そして自身は傷つきやすい心を持っているということなど、親や社会から学んでいくことが大切です、必要不可欠なのです。そうして人格は形成されていくのです。

「今の子ども達は・・・」などと社会のあちらこちらで聞かれますが、これは大人社会が作りだした縮図なのです。子ども達にはまったく

とっていいほど責任はありません。大人達の利己主義、自己中心的な考えがそのまま子ども達に影響しているわけです。だって、道しるべですからね。縮図が徐々に芽生えてきているのが、今の世の中です。子供達に責任転嫁？大人達はこの状態をしっかりと受け止めなければなりません。私達は、多くの場所でこのような現状を親達に伝えていっています。「はっ」と気付くことが大事なのです。気付いたら動けるのです。子どもを変えてはなんら意味をもちません。自分を変えるのです。身なりではありません。自己の心を変革させるのです。相当なエネルギーがいりますが、気付いた時点で、子ども達は変化していきます。成長にも差があるように、変化にも差があります。ゆったり豊かに進めていくことが、また「はっ」と気付くことが、思い直すことが大切なのです。

「歳をとったから、頭が固くなる」これはおかしい話です。これまで生きてきてたくさんの場面に出くわし、いろんな知識や技術を蓄えているはず。情報はたくさんあるわけですから、取捨選択できますし、引き出しも増えていくわけです。おかしい、頭が固くなるはずがない。考えることを楽しむのです。

短絡的に生きていくのではなく、考えることのすばらしさを私たちは伝えていきたい。やがて自分の身に返ることを身をもって伝えていきたい。

連絡・問合せ ☎(45)6222

宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前9時から午後4時まで
休館日：月曜日、祝祭日の翌日

◇家屋の取り壊し届出書の提出は済みましたか？

固定資産税は、毎年1月1日(賦課期日)現在の土地、家屋、償却資産(これらを総称して「固定資産」という)の所有者に課税されますが、

- ① 建物を壊し、滅失登記が済んでいないとき
 - ② 未登記家屋を、取り壊したとき
- などは「家屋取り壊し届出書」(税務課にあります)を1月末日までに税務課へ提出してください。

提出がない場合は、課税されることとなりますので、建物を取り壊したときは届出を忘れずにお願ひします。

◇償却資産の

申告について

会社や個人で工場や商店などを経営している方が、その事業のために用いることができる機械・器具・備品などを償却資産といえます。

償却資産(事業用資産)の所有者は、毎年1月1日現在の償却資産の状況を1月末日までに申告をしていただくことになっています。

これに基づき、毎年評価の上その価格を決定します。忘れずに申告をお願いいたします。

なお、申告用紙のない方は、税務課資産税担当へ請求してください。